

平成 30 年度

全国学力・学習状況調査の
結果について



平成 30 年 12 月
海老名市立門沢橋小学校

目次

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「算数に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「理科に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 4
「児童質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 5
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 6



資料 学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童・生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
(教科に関する調査、児童・生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学校生活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家の方は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的生活習慣】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査(平成23年度は震災の関係で実施を中止)でしたが平成25年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました

◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

◆ 調査の対象

- 国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒
- ・ 小学校第6学年
 - ・ 中学校第3学年

◆ 調査内容

(1) 教科に関する調査

【小学校】

- 国語A・算数A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・算数B (主として「活用」に関する問題)
- 理科 (主として「知識」「活用」に関する問題)

【中学校】

- 国語A・数学A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・数学B (主として「活用」に関する問題)
- 理科 (主として「知識」「活用」に関する問題)

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

(2) 児童生徒に対する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

(3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

◆ 調査実施日

平成30年4月17日(火)



国語に関する調査結果

国語 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 時間の流れや内容、出来事の順序などに着目して、文章全体の構成の効果を考えることができます。
- 文章を読み、そこから目的に応じて必要な情報を捉えることができます。

《努力を要する所》

- 文の中における主語と述語との関係に注意して、文を正しく書くことに課題があります。
- 相手や場面に応じて適切に敬語を使うことに課題があります。
- 学習した漢字を文の中で正しく使うことに課題があります。

国語 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 目的や意図に応じて、文章全体の構成の効果を考えることができます。
- 推薦する文を書くには、他のものと比較することで、よさが伝わることを捉えることができます。

《努力を要する所》

- 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめることに課題があります。
- 内容の中心を明確にして、詳しく書くことに課題があります。
- 文章の内容を押さえ、自分の考えを明確にしながらかくことに課題があります。

これまでの取組から

- 家庭学習が習慣化しています。今後も学習全般において、さらに学年に応じた力を積み上げていくようにします。
- 引き続き、習得した漢字を読んだり書いたりする機会を増やしていきます。

今後の具体的な取組について

- 主語と述語、修飾語と被修飾語の関係を明確にしたり、5W1Hなどの文の構成について理解したりできるよう、文を読んだり正しく書いたりする学習を繰り返し行っていきます。
- 国語科だけでなく、各教科で文章を書く機会を増やし、自分の考えを明確にして詳しく書くように指導していきます。
- 目的に応じて本を選び、比べ読みや摘読、多読などに取り組ませることで読む力をつけていきます。



算数に関する調査結果

算数 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 十進法で位取りされた数の大小について、相当数の児童が理解しています。
- 異種の2つの量の関係として捉えられる数量について、その比べ方や表し方を理解しています。
- 角度についての理解が深まっています。

《努力を要する所》

- 小数の除法の意味についての理解が不十分です。
- 百分率についての理解に課題があります。

算数 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 合同な三角形で敷き詰められた模様の中から、条件に合う図形を見出すことができます。
- 示された考えを解釈し、条件を変更した場合について考察した数量の関係を、表現方法を適用して言葉と数を用いることができます。

《努力を要する所》

- 角の大きさの和について、言葉や式を用いて記述する力が不十分です。
- 枚数・本数・個数などの数量を関連付け、根拠を明確にして式や言葉を用いて記述することに課題があります。
- グラフから正しい情報を読み取り、説明する力が不十分です。

これまでの取組から

- 家庭学習の習慣化を一層図りながら、基礎的・基本的学習内容の習得をこれからも低学年から積み上げていきます。
- 問題文からその問題の場面を理解するために、併せて国語の学習や日常の言葉を大切にされた指導を積み重ねていきます。
- これからも、全校一斉に計算タイムを行い、計算力定着を図ります。

今後の具体的な取組について

- 日常生活の問題を乗法や除法の式、図形の性質を用いて判断する学習を充実させていきます。
- 既習事項を生かし、筋道を立てて考え、判断の根拠を説明できる経験を積み重ねていきます。



理科に関する調査結果

《優れている所》

- 生物に愛護態度をもって、観察できる方法を構想することができます。
- 調べた結果を考察する際に、問題に対応した視点で分析できます。
- 電流の流れ方について、実験結果をもとに、より妥当な考えに改善できます。
- より妥当な考えを作り出すために、2つの異なる方法の実験結果を分析して考察できます。
- 物は水に溶かしても全体の重さは変わらないことを、食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用することができます。

《努力を要する所》

- 科学的な言葉や概念の理解に課題があります。
- 実験結果を基に分析して考察し、内容について記述することに課題があります。
- 回路の中をどのように電流が流れているか理解することに努力を要します。

これまでの取組から

- 結果を予想して実験を構想することができるよう、考える時間を確保します。
- 言葉の意味や自然事象についての知識理解を深めるために、スモールステップで繰り返し語句を活用できるよう工夫していきます。

今後の具体的な取組について

- 自発的に学習に取り組むことができるよう、調べ学習を通じ、関心意欲を高めていくようにします。
- 地球やエネルギー分野等の抽象的な学習では、考察したり、自分の考えを述べたりすることができるよう、タブレットなどのICT教材も活用し、より身近に感じることができる環境を作っていきます。



児童質問紙の結果より

学習について

《よかった所》

- 家で学校の宿題をする習慣がついています。
- 算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えることができています。
- 理科の学習は、好きと答えた児童が多いです。

《課題と思われる所》

- 将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思っている児童は少ない傾向にあります。
- 自分の考えを発表する機会では、資料や文章、話の組み立てを工夫して行うことが苦手と答えた児童が多いです。

生活について

《よかった所》

- 将来の夢を持っていて、人の役に立つ人間になりたいと思っている児童が多いです。
- 自分には良いところがあると、自己肯定感をもっている割合が多いです。

《課題と思われる所》

- 地域の人とかかわったり、地域のために何をすべきかを考えたりしている割合が、少ない傾向にあります。
- テレビやインターネットのニュースを見ている割合が、少ない傾向にあります。

これまでの取組から

- 読書活動を推し進め、言葉を豊かにしながら、授業における言語活動の充実を図ります。
- 継続的に、音読や計算、漢字などの学習を家庭でも取り組み、習熟を図っていきます。

今後の具体的な取組について

- 実験や体験的な活動を通して、「もっと知りたい」「考えてみたい」と思える授業づくりに努めていきます。
- 考えたことを分かりやすく伝えることができるように、各教科の授業を通し、指導していきます。



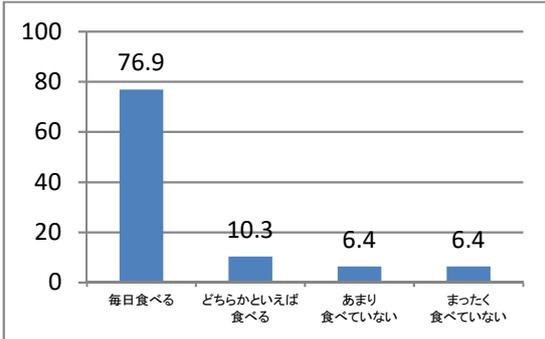
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい6つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

1 毎日、朝食をとりましょう。

授業に集中できるよう、しっかり朝食をとって登校しましょう。

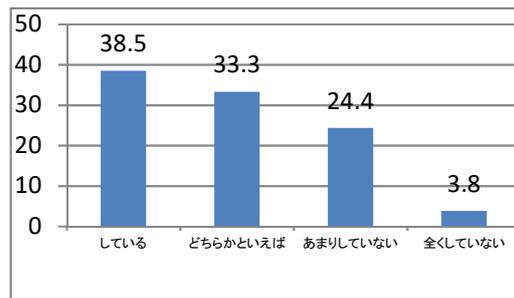
朝食を毎日食べていますか。



2 睡眠時間をきちんと確保しましょう。

規則正しい生活をし、心身ともに元気に登校しましょう。

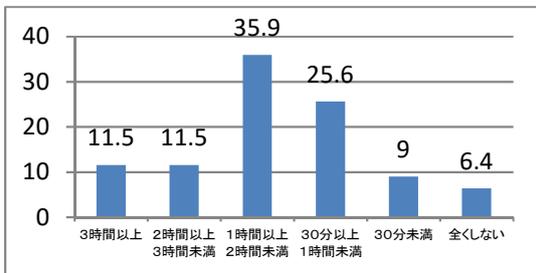
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。



3 家庭での学習習慣をつけましょう。

学習状況を見守り、ほめて励ますことで家庭学習が習慣化するよう関わりましょう。(学年×15分)

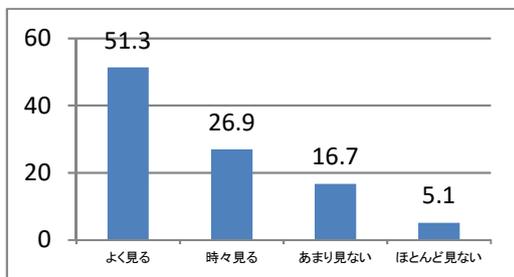
普段、学校以外で1日あたりどれくらいの時間勉強しますか。



4 社会の出来事に関心をもつようにしましょう。

ニュースを観たり新聞を読んだりして、多様な知識や考えをもてるようにしましょう。

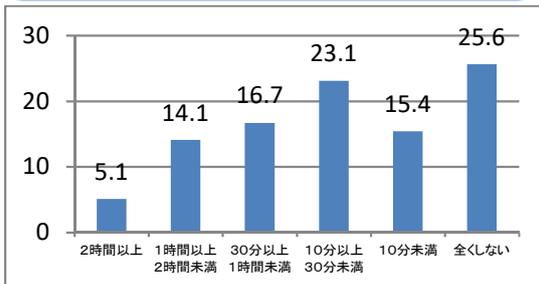
テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか。



5 物語、詩、伝記、図鑑など様々な本を読みましょう。

読書を通して他者の考え、意見、事実を知ることができます。読書の習慣化を図りましょう。

学校の授業以外に1日あたりどれくらい読書しますか。



6 子どもとたくさん話をしましょう。

社会の出来事や勉強、将来についてなど、親子で話し合うことが学力向上につながります。

家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか。

